

境川木曾西調節池整備に関するオープンハウスの開催記録

1 開催概要

日 時	令和8年3月7日（土曜日）13時00分～17時00分
場 所	町田市立木曾境川小学校 体育館
参加者数	39名

2 主なご質問・ご意見と回答・見解（要旨）

※複数の方から頂いた同様の質問については、集約して記載しています。ご了承ください。

※説明会後のアンケートでいただいた質問についても、あわせて回答させていただきます。

(1) 計画について

ご質問・ご意見	回答・見解
・40～50年前は、この周辺もよく浸水していた。境川の水害は心配である。	都では、境川を優先度の高い流域として、順次水害対策を進めています。
・この調節池を整備すれば水害がなくなるのか。	「境川水系河川整備計画（H27.4）」において、境川の東京都管理区間では、年超過確率1/20規模の降雨（1時間あたり概ね65ミリ）に対応するため、計76万 m^3 の調節池整備を位置付けております。本調節池の整備は浸水被害の軽減に寄与しますが、今後も東京都管理区間において、調節池の整備は必要となります。また年超過確率1/20規模（1時間あたり概ね65ミリ）を超える降雨も起こりうるため、自助や避難等に対応いただけるよう、浸水予想区域図の公表や水位情報の提供といったソフト対策を合わせて実施しています。
・現在境川では本調節池を含め3つの調節池を整備しているが、その他の調節池はどこに整備するのか。	「境川水系河川整備計画（H27.4）」に基づき整備を行ってまいりますが、設置場所等、確定していないことが多いため、具体的な時期や場所については現在検討を行っております。設置予定場所周辺の住民に対しては、適切な段階でご説明を行ってまいります。
・ハザードマップの雨はどんな雨なのか。	ハザードマップのもととなっている「境川流域浸水予想区域図」は、想定し得る最大規模の降雨（年超過確率は1/1000（時間170ミリ））でのシミュレーション結果から東京都と神奈川県で作成しています。 今回の調節池整備の目標としている降雨は、年超過確率1/20規模の降雨（時間概ね65ミリ）です。
・左右岸（左岸側：町田市、右岸側：相模原市）の災害リスクはどうか。	町田市または相模原市のハザードマップを参照ください。 国土交通省と国土地理院のWeb地図サイト「重ねるハザードマップ」では、災害リスクが重ねて表示できます。
・時間何ミリの雨とはどのようなイメージか。	1時間に水がたまる深さを表しています。 時間50mm以上の雨は、滝のように降る非常に激しい雨になります。

<p>・調節池ができることによって、ハザードマップは変わるのか。</p>	<p>今回の調節池整備の目標としている降雨は、年超過確率 1/20 規模の降雨（時間概ね 65 ミリ）です。一方、ハザードマップのもととなっている「境川流域浸水予想区域図」は、想定し得る最大規模の降雨（年超過確率は 1/1000（時間 170 ミリ））でのシミュレーション結果から作成しています。ハザードマップのもととなっている洪水浸水想定区域図の変更について「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第 4 版)(平成 27 年 7 月)」では、浸水想定区域の大幅な変更が見込まれる場合に変更を行うとされているため、調節池ができたタイミングですぐに見直されるものではありません。</p>
--------------------------------------	---

(2) 工事について

ご質問・ご意見	回答・見解
<p>・防音ハウスで囲う付近（新中里橋上流右岸側）は具体的に何 dB の騒音が発生するのか。</p>	<p>ニューマチックケーソン工法施工時の音響シミュレーションの結果では、防音ハウス付近は最大で 70～75db となる予定です。ただし、全ての音を同時に稼働させた場合の最大値で、常時その程度の騒音が発生するわけではありません。なお、現段階では音響シミュレーションでの想定でしかお答えできないため、工事受注者が決まった段階で工事説明会等において具体的にご説明させていただきます。</p>
<p>・調節池西側（マンション付近）は防音壁を設置する事で何 dB の騒音になるのか。</p>	<p>ニューマチックケーソン工法施工時の音響シミュレーションの結果では、防音壁がない状態では 80～85db の騒音が想定されますが、防音壁を設置することで最大 75～79db となる予定です。ただし、全ての音を同時に稼働させた場合の最大値であるため、常時その程度の騒音が発生するわけではありません。なお、現段階では音響シミュレーションでの想定でしかお答えできないため、工事受注者が決まった段階で工事説明会等において具体的にご説明させていただきます。</p>
<p>・騒音規制の基準値内に収まっているのか。</p>	<p>作業の種類によって異なりますが建設作業に対する騒音規制の基準は 80～85db であるため、基準値内には収まる計画です。なお、低騒音・低振動型の建設機械の使用や、防音壁・防音ハウスの設置、影響遮断鋼矢板の設置等の対策を行う事で騒音振動の低減を行います。 詳細については工事受注者が決まった段階で工事説明会等において具体的にご説明させていただきます。</p>
<p>・工事車両のルートはどうか。</p>	<p>設計段階の想定としては町田市側の道路から現場へ搬入し、搬出は相模原市側の国道 16 号へ抜けていくルートを想定しています。具体的なルートについては工事受注者が決まった段階で工事説明会等において具体的にご説明させていただきます。</p>
<p>・工事業者はいつ決まるのか</p>	<p>下水道管移設や防音壁を設置する工事は令和 8 年度中を予定しており、躯体を構築する工事は令和 9 年度中を予定しています。ただし、まだ発注前のため、今後変更となることもあります。</p>
<p>・下水道管移設工事では、人や車は道路を通れなくなるのか。また、駐車場は使えなくなるか。</p>	<p>設計段階の想定では、道路がバス通りとなっているため夜間での施工を予定しており、昼間の通行に支障はないと考えていますが夜間は一部通行止めになることを想定しています。駐車場の利用に関しては工事受注者が決定し、工事内容等について関係する地元の皆様に詳細を説明させていただきます。</p>

・下水道を移設する道路付近にある縁切り柵は撤去するのか。	縁切り柵は撤去しません。
・タワークレーンの高さはどれくらいの高さになるのか。強風でマンション側に倒れるようなことはないか。	詳細については工事受注者が決定し、工事説明会等において具体的にご説明させていただきますが、設計段階ではタワークレーンの高さは約50m以上を想定しています。なお、事前に検討を行い想定される台風や突風に耐えられる様に対応いたします。
・地下50mも掘るのに影響遮断矢板は9~10mで大丈夫なのか。	影響遮断矢板はケーソンを沈設させるための初期掘削の地盤変位や、工事中の振動を遮断させるのが目的で、検討の結果9~10mで問題ないことを確認しています。なお、ニューマチックケーソン工法自体は自重で沈設するため周辺環境への影響が少ない工法となっています。
・金森調節池や木曽東調節池は深さが約20mなのに対して、木曽西調節池はなぜ50mも深さが必要なのか。	調節池の容量は、その区間で確保しなければならない貯留量が決まっており、金森調節池や木曽東調節池に比べて敷地面積が狭い木曽西調節池では、深くすることで貯留量を確保する必要があるためです。
・ケーソンを施工する事で周囲の地盤が変形することはないのか。	環境対策として調節池外周部の地下に鋼矢板を打設することで、周辺地盤の変位や振動の影響を遮断する計画としております。 またニューマチックケーソン工法は、沈設させたケーソンが、そのまま地下箱式調節池本体となるため、周辺地盤への影響が少ない工法です。
・ニューマチックケーソン工法は実績が多いのか。	東京都の調節池事業や他局の立坑工事などでも実績のある工法です。
・上流側の旧河川敷に防音壁は設置するのか。設置する場合、日差しは遮られないか。	上流側の旧河川敷はケーソンの作業所や施工業者の休憩所等を設置する予定であり、防音壁ではなく一般的な仮囲い柵を設置予定です。仮囲い柵は高さ3mを予定しており大きな影響はないと考えています。

(3) その他（施設概要・維持管理等）

ご質問・ご意見	回答・見解
・工事中、災害が起きた場合地域に対しトイレや水の供給を確保してほしい。	工事期間中は、受注者が現場管理を行います。現段階では発注前のため、施工業者が決まった段階で、ご意見として申し伝えます。
・調節池の上部はどうなるのか。空いたスペースは開放しないのか。	管理棟やその他施設の配置を含めると、残る面積が狭いため、現時点では閉鎖管理を考えており、開放の予定はありません。
・調節池完成後、管理棟に人は常駐するのか。また、人の出入りはあるのか。	調節池完成後、管理棟は無人となる予定です。ただし、水を貯留した後の清掃時や、機械等のメンテナンスで人が出入りする場合があります。
・調節池の水はいつ河川に排水するのか。どれくらいの時間がかかるのか。また、ポンプは何台あるのか。	調節池に貯留した河川水は、降雨が収まり河川水位が低下した後に、約48時間かけてポンプ設備により河川に排水します。 ポンプは4台設置する予定です。

<p>・調節池と調整池の違いは。</p>	<p>調節池は、増水した河川水を直接取り込み一時的に貯留します。調整池は主に開発に伴って失われた保水機能を補うため設置される施設であり、雨水が河川に流れ込む前に一時的に貯留する機能があり、河川が一気に増水しないようにする効果があります。どちらも浸水被害を防ぐことを目的としている施設ですが役割が異なります。</p>
<p>・工事中や完成後の見学会は行うのか。</p>	<p>今後検討させていただきます。</p>

※説明会時配布資料等は、東京都南多摩東部建設事務所ホームページに掲載しています。

(URL : <https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/minamitamatoubu0033.html>)

<問い合わせ先>

- 河川の計画等に関する事 東京都建設局河川部計画課 Tel03-5320-5415
- 調節池の工事等に関する事 東京都南多摩東部建設事務所工事課 Tel042-720-8676